

楽しく美しい
まちづくり通信

103

ヒメボタルを見に出かけよう

昔は、自宅の裏庭でも夏の夜に見られたホタル。夏の風物詩として、子どもたちが蚊帳の中に入れて楽しむことが多かったのですが、最近、市街地では見かけなくなりました。

そこで、ヒメボタルを見に折爪岳に出かけませんか。

折爪岳は北東北最大級といわれるヒメボタルの生息地です。ヒメボタルの幼虫は、ゲンジボタルやヘイケボタルと違って地上で成長する(陸生ホタル)ため折爪岳山頂付近でも見ることができます。特に山の家・キャンプ場・遊歩道周辺では七月中旬から八月始めにかけて見事な光のパノラマを見せてくれます。暗くなる午後七時半ごろから少しづつ光りはじめ午後八時から九時ごろが最も見頃となります。

また、ヒメボタルのメスは、ホタルの仲間では例外的にオスより小さく、また、後翅が退化していて飛べないため、草の茎や枝につかまりながらオスを誘います。このため、草むら全体が光り輝く幻想的な光景が見られます。

ホタルは風が少なく蒸し暑い日、また、曇っていて月明かりのない暗い夜に、多く飛ぶのが見られます。あらかじめ天気予報をチェックしておきましょう。

男女共同参画 社会について 考えよう

③



○計画策定の必要性

現代社会は、少子高齢化や高度情報化、個人のライフスタイルや価値観の多様化など、人々を取り巻く環境が大きく変化しています。これらの変化に柔軟に対応するためには、これまでの社会的な風習や固定化された男女の役割などを見つめ直すことが必要です。そして、一人の人間として人権が尊重され、男女が対等なパートナーとして責任を分かち合い、性別にとらわ

れることなく、家庭や職場・学校・地域で、その個性と能力を十分に発揮することが出来る「男女共同参画社会」の実現が緊急の課題となっています。

この男女共同参画社会の理想や目標は、国や県、市町村のいずれのレベルにおいても共通のものであります。

しかし、地域の生活実態を把握し、その地域に根ざした計画を策定することが、住民の日常的な行動のなかで男女共同参画社会を実現していくために重要です。そのため、地域の風土や伝統・文化、地元の慣習、住民意識、経済状況などを把握し、また住民の意見を反映した市独

自の計画を策定することが必要となります。

このように、男女共同参画計画が住民に最も身近な行政施策として策定されることによつて、初めて、住民一人ひとりの意識に影響を与え、あるいは活動を支援することができる実効性あるものとなるのです。

○お知らせ

(仮称)二戸市男女共同参画行動計画策定懇話会委員募集
内容は5月15日号に掲載

▽問い合わせ先 市まちづくり推進課(25,5411)

二戸市循環バスの愛称募集

市では、新しく運行する循環バスの愛称を募集します。

循環バスは、石切所・福岡両地区のバス空白地域の解消などのため、市が29人乗りマイクロバスを購入、今年9月下旬から運行する予定です。

コースは、二戸駅を起・終点に奥山・上里地区や村松地区、シビックコアや市役所などの公共施設のほか九戸城跡や馬仙峡などの観光施設を毎日8回巡ります。バス停は設けますが、手をあげれば止まるフリー乗車も考えており、料金は、1乗車200円(小学生は100円)。

愛称は、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットのいずれかで表記、簡単な提案理由を添えて官製はがき又はEメールでご応募(1人1点限り)ください。応募される方の住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業または学校名(学年)、電話番号も記入願います。締め切りは7月31日(当日消印有効)。

応募資格は、二戸市内在住の方。応募作品の中から最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作5名を選び、最優秀作品を二戸市循環バスの愛称として使用させていただきます。入賞者への賞品はバス回数券を考えております。

応募先及び問い合わせは、〒028-6192 二戸市福岡字川又47 二戸市企画政策室(内線374、Eメールアドレスninohe@city.ninohe.iwate.jp)まで。